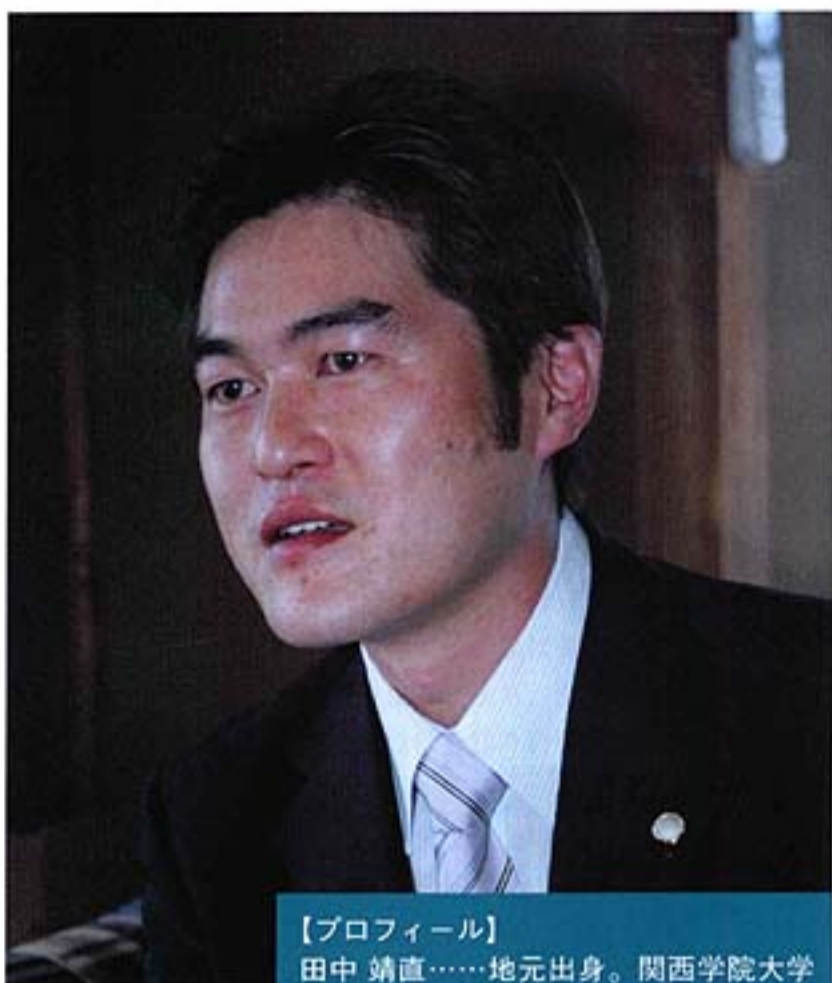


時代と人をつなぐ
スペシャリスト

税理士

田中 靖直

田中靖直税理士事務所は、地域の中小企業経営者を中心に各種税務を手掛け、その確かな仕事に定評がある。法律が変わり、自由化・自由競争の波が押し寄せる税理士業界において、同事務所は税理士の概念を越えた新しい取り組みを模索し、他の事務所との差別化を図ろうとしている。「納税者の視点に立って、幅広い要望に応えていきたい」と語る田中税理士に、俳優の速水亮さんがインタビュー。



【プロフィール】

田中 靖直……地元出身。関西学院大学卒業後、税理士をしていた父や兄の影響を受け、税理士資格を取得して法曹界に入る。1997年、跡を継ぐ形である税理士事務所を引継ぎ、田中靖直税理士事務所をスタート。5年にわたって事務所を守ってきたが、法改正や周辺地域の状況を見て組織を改めることにし、一人で再スタートを切る。

納税者の視点に立った 次代の税理士業を追究

速水 数年前と今では、業界の在り方がずいぶん変化したと聞きますが、いかがですか。

田中 2002年の法改正あたりから、税

理士を取り巻く環境はかなり変わったと思います。まず、自由競争の原理が業界に取り入れられました。それによって、事務所のPRも自由になり、価格競争も

激しくなったのです。

速水 すると、お客様も事務所を選べる時代になったわけですね。

田中 ええ。かつては情報が少なかったせいもあって、お客様が事務所を選ぶ際の判断材料は口コミによる評判だけでしたし、一度選んだ事務所を替えられることもなかったですね。しかし、バブルが崩壊して人々の価値観が変化し、私ども税理士に対して求める仕事や期待の大きさも変わりました。それにより、税理士事務所を選び、より自分たちに合った専門家に任せたい、という人が増えてきたのです。私はちょうどそんな時期に、ある故人の税理士事務所とその顧客を引き継ぐ形で当事務所をスタートしたことも

速水 亮 (俳優)

「税理士というとても堅いイメージがありますが、先生はそうではなく、とても親しみやすい人柄の方でした。法曹界も自由競争の時代に入り、税理士もこれからはそれぞれに個性を出してお客さんの心をつかんでいかなければいけないでしょう。先生のそのキャラクターを一つの武器にして、他の事務所とはひと味違った特徴を出して頑張ってください。応援しています」



OFFICE TANAKA
田中靖直税理士事務所

愛知県豊橋市新栄町字東小向 27 番地の 2 TEL 0532-34-7533 FAX 0532-34-7534

URL : <http://www.officetanaka.co.jp/>

変わるべきものと変わってはならないもの

▼税理士法の改正により、税理士業の世界も自由競争の時代に入った。これまで禁止されてきた広告が自由になり、報酬も自由に決めることができる。税理士の数も大幅に増えた。その中で、「これからは発想を変えないといけない」と語る田中氏は、他の事務所と差別化を図るためにも、税理士業の新たな可能性を模索している。だが、あくまでも納税者の立場になって考えるというポリシーは不変だ。変化する業界の中で、変わらず信頼を集め続ける理由はそこにある。



あり、周囲の変化を肌身に感じるが多かったですね。評判を聞いてか、税理士を私に替えたいとおっしゃるお客様もいて、そうした期待を寄せていただけたことは大変うれしかったのですが、旧来の業界では「客を奪った」と蔑視されたこともあり。競争の自由化はそういった社会の変化に対応するためのもので、それら法曹界の変化の流れを感じ取った私は、組織を一度改め、再スタートして、お客様本意の税理を追究することにしました。それで一度一人にもどり、全くのゼロからスタート——と思ったのですが、これまでお付き合いのあった半数以上のお客様が私の考えに共感してついてきてくれたのです。大きな事務所が増え、中には税理士が集まって税理士法人などもできてきている中で、「個人に何ができるか」と不安を感じていましたが、このことで大変自信が付き、また求められる仕事をしようと強く感じました。

速水 お客様が求められるものの変化とは、具体的に言うと何でしょうか。
田中 かつて、お客様が税理士に求めていたのは、申告納税制度に則った事務手続の代行、申告の正確さでした。しかし今、お客様が求めるのは、経営支援的な能力です。ですから私は税理士として、あくまで税務の立場から経営をサポートしようと努めています。税理士法には独立した公正な立場で申告の代理をす

る」とうたってあります。この公正という部分を、ただ正確に行えばいいと受け止めていたのでは、これから増えつつあるニーズにはそぐわなくなるでしょう。税理士は税務署とお客様の間に立ち、お客様の代理としてもっとも良い形で納税をサポートしていかなくてはならないと思っています。

速水 頼もしいですね。では具体的にどのようなことを心掛けておられるのでしょうか。

田中 私はなるべくお客様の元に足を運んで報告をしているんです。身近な存在であることが、頼れる税理士の条件だと思っています。

速水 昔は税理士さんが少なく、経営者もまれにしか顔を合わせなかったと聞きます。今は、税理士資格の取得者が増えていますから、そういった点では、身近な税理士さんが増えていくかもしれませ

んね。

田中 良いことだと思います。もちろん、業界内での競争がそれだけ激しくなるでしょうから、私どもとしてはこれまでやってきたことだけを続けていたのではいけないでしょう。公認会計士法も変わり、公認会計士も登録すれば、ある程度税理士と同じ仕事もできるようになりましたからね。

速水 そうすると、今後はどうのよう

田中 差別化が大事ですね。ですが、どこかで見たような特徴ではダメでしょう。明らかに他とは違う特徴を持たないといけません。例えば、24時間体制にするなど、ニーズをとらえたスローガンを掲げ、納税者の要望に応える仕事をしたいと思っています。

速水 たいへん期待しています。これからも頑張ってください。本日はありがとうございました。



The Specialist